



命どう宝、生き抜け！



# 島の守り塔



私、生きましたよ



鉄の暴風と言われた激しい空襲、艦砲射撃、上陸戦の絶望に追い込まれた沖縄戦。その中で「生きろ!」と後世に一筋の命を託した2人の官僚と沖縄の人々の物語を映画化。

萩原聖人 村上淳

吉岡里帆 池間夏海 / 榎木孝明 / 成田 湊 水橋研二 / 香川京子

監督・脚本：五十嵐匠 脚本：柏田道夫 原案：「沖縄の島守ー内務官僚かく戦えりー」田村洋三著(中公文庫)

音楽：星勝 プロデューサー：川口浩史 撮影：釘宮慎治 照明：山川英明 美術：黒瀧きみえ 装飾：鈴木高正 録音：池田雅樹、藤丸和徳 聲音：瀬川徹夫 編集：宮島竜治 視覚効果：松本 肇

音響効果：大河原将 スクリプター：宮下こずゑ 衣裳：大塚 満 メイク：薩広綾子 助監督：宮崎 剛 製作担当：花山康大

製作：映画「島の守り塔」製作委員会(下野新聞社、神戸新聞社、琉球新報社、沖縄タイムス社、毎日新聞社、サンテレビジョン、とちぎテレビ、クイック、井上総合印刷、ウインの森、ストームビクターズ、トロコフィルム)

配給：毎日新聞社、ポニーキャニオンエンタープライズ

©2022映画「島の守り塔」製作委員会 助成：●スバル文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

shimamori.com



22124-A



県民の4人に1人、20万人が犠牲となった日本国内最大の地上戦「沖縄戦」。命を懸けて「命(ぬち)どう宝、生きぬけ!」と叫び続けた2人の官僚と、命の重みを受け継ぎ「沖縄戦」を生き抜いた沖縄県民。それぞれの苦悩と生きることの奮闘を描き、本土復帰50年の節目に「命の尊さ」を次世代に継承する映画が誕生しました。

沖縄戦末期、本土より派遣された2人の内務官僚がいた。戦中最後の沖縄県知事として赴任し、軍の命令に従いながらも苦悩し、県民疎開・保護に尽力した島田観(あきら)と、島田と行動を共にし、職務を超え努力した警察部長の荒井退造。2人から命の重みを受け継いだ沖縄県民の戦火に翻弄されながらも必死に生きるそれぞれの姿を描きます。島田役には映画やドラマ、ナレーションなど幅広く活躍している萩原聖人。荒井役には日本映画界に欠かせない俳優・村上淳。実力派俳優の共演が実現した。また、島田の世話役の県職員・比嘉凛を吉岡里帆が熱演。凛の妹で看護学徒隊の比嘉由紀を池間夏海が、映画「ひめゆりの塔」に出演していた香川京子が現代の凛を演じている。監督は「地雷を踏んだらサヨウナラ」など社会派作品で知られる五十嵐匠。



萩原聖人 村上淳 / 吉岡里帆 池間夏海 / 榎木孝明 / 成田 湊 水橋研二 / 香川京子  
 監督・脚本:五十嵐匠 脚本:柏田道夫 原案:『沖縄の島守—内務官僚かく戦えり—』田村洋三著(中公文庫) 音楽:星勝 プロデューサー:川口浩史 撮影:釘宮慎治  
 照明:山川英明 美術:黒瀧きみえ 装飾:鈴木高正 録音:池田雅樹、藤丸和徳 整音:瀬川徹夫 編集:宮島竜治 視覚効果:松本肇 音響効果:大河原将  
 スクリプター:宮下こずゑ 衣裳:大塚 満 メイク:薩広綾子 助監督:宮崎 剛 製作担当:花山康大  
 製作:映画「島守の塔」製作委員会(下野新聞社、神戸新聞社、琉球新報社、沖縄タイムス社、毎日新聞社、サンテレビジョン、とちぎテレビ、クイック、井上総合印刷、ウィーンの森、ストームピクチャーズ、トロコフィルム)  
 配給:毎日新聞社 ポニーキャニオンエンタープライズ ©2022映画「島守の塔」製作委員会  
 助成: 文部科学省文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

shimamori.com

## 丹波篠山市同教「みんなの人権を考える映画会」 日本語字幕付き

とき 2024年8月11日(日) 14:00~

ところ 丹波篠山市民センター 多目的ホール

参加方法 当日、直接会場までお越しください。予約は不要です。

※気象状況等により、中止になる場合があります。電話またはホームページにて確認できます。

問い合わせ先 丹波篠山市人権・同和教育研究協議会

TEL・FAX 593-1260 (月・火・木・金 9時~17時) ホームページ <http://t-s-doukyou-hr.jp>

**！入場無料！**